



「昭和100年、戦後80年に際して」

いやー、あっという間に真夏ですね。皆様、お元気でしょうか？

しかし巷では、まだまだ“プチ米騒動”が続いていますね。

備蓄米を放出するのは良いことだと思いますが、来年はどうするつもりなのでしょうか？

以前にもお話しさせていただいたように、米作農家の平均年齢が70歳をはるかに超えている現状を何とかしない限り、根本的な解決にはならず、何度も同じことが繰り返されるのではないのでしょうか...

とりあえず、トランプもうるさいので、備蓄米用にカリフォルニア米でもドカンと買っておけば、コスパも良く、一石二鳥ではないかと思いますが、皆様はどうお考えでしょうか？

さて、今回も「びっくりしたこと」第3弾です。

「日本に投下された原爆は偽物だった」という説です。

「そんなまさか〜、変な陰謀論にはまっているんじゃない？」と思われそうですが、アメリカの公文書にしっかりと記録されているようです。

1945年5月31日に開催された「暫定委員会」という会議の議事録には、参加者であるアーサー・コンプトン博士の言葉が残されています。

「ウラン235を使った爆弾はまだ実現していないが、理論上は実現可能であると考えられる。最初のウラン濃縮爆弾ができるのは恐らく1年半後。複数の爆弾を作るのに十分なプルトニウムを得るには3年かかる」と記されています。※1

???つまり、原爆が投下された8月6日時点で、原爆は完成していなかったということです。ちなみに、この委員会には映画で有名なオッペンハイマー氏も同席していました。

以下は近現代史評論家・林千勝氏によるものですが、そもそも考えてみればおかしい点が多いのです。

原爆は地上500mの上空で太陽が爆発したようなものとされ、その場合、地上の温度は3000〜4000度、1km離れても2000度に達するといわれます。

地上のものは“焼ける”というより“跡形もなく蒸発する”という表現の方が正しいようです。

つまり、原爆ドームなどが残るはずはなく、むき出しになった鉄骨も溶けて消えていたはずですよ。

写真を付けておきますが、周辺には黒焦げになった樹木まで残っており、これは通常ではあり得ない現象です。

地上には何も残らないばかりか、巨大なクレーターができていなければおかしい、とのことですよ。

また、原爆投下時には「放射能の影響で今後60年は雑草も生えない」といわれていましたが、翌年には普通に植物が生えています。

さらに、致死量の放射線を浴びたはずなのに、直撃地点の周辺に生存者が多くいるのはなぜか？

閃光を見たという人が多数いるのに、失明した人がいないのはなぜか？

——不自然な点がいくつもあります。

日本の「原爆開発の父」といわれた仁科博士の弟子である、理化学研究所の矢崎博士は、原爆投下からわずか1週間後の8月13日付の読売新聞にて「これは原子爆弾ではない」と発表しています。

海外でも、ドイツの医師でありジャーナリストのミヒャエル・バルマー博士が『偽装された原爆投下』という本を出版しています。

この航空写真を撮ったアレクサンダー・セヴァスキー氏も「原爆が落ちたというわりには、

被害は普通の爆撃と変わらない」とコメントしています。
確かに、東京大空襲の方が被害者数は多かったようですね。
7月1日の厚労省の発表によれば、被爆者手帳を持つ方はまだ10万人近くおり、
平均年齢は86.3歳。これは日本人の平均余命と大きくは変わりません。※2

では、原爆でなければ何が落とされたのか？という疑問が残ります。
有力な説としては、ナパーム弾、閃光弾、そしてマスタードガスの混合物ではないかといわれています。

硫黄マスタードガスは放射線障害に似たケロイド症状を引き起こすため、あえて使用されたのではないかと考えられています。

もしそれが事実なら、偽装のために毒ガスを混ぜて使用したことになり、極めて非道な行為です。

まあ、原爆を落とすよりはまだマシかもしれませんが...

ただ、表面的には同じでも、放射線障害であれば骨髓にまで影響が及ぶはずで、きちんと調べれば違いがわかるということです。

また、ケロイド症状についても、発症が投下直後ではなく翌日だった人が多く、これは衣服などについた毒ガスの成分が後に影響を与えた、毒ガス特有の症状だといわれています。

ちなみに米軍は、日本に進駐してすぐの1945年10月に「原爆に関する合同調査委員会」を発足させ、患者治療に関する情報の発表禁止や、病理標本の没収といった隠蔽工作を行っています。※3

では、なぜ原爆を偽装する必要があったのでしょうか？

主に2つの理由が考えられます。

1. 現在の貨幣価値で数10兆円にもなる莫大な開発費の正当化
2. 戦後、ソ連が戦力を拡大しないように威力を誇示し、アメリカが戦後の世界覇権を確立するため

早期終戦や米兵の犠牲を最小限にする、といったアメリカが表向きに主張していた理由ではけっしてなかったということになります。

「このように日本は先の大戦で敗北したことで様々な隠蔽、情報操作、洗脳にさらされてきました。これらを一つ一つ紐解いていくことが真の自立につながる」と林氏も締めくくっておられます。

今年は昭和100年、戦後80年という大きな節目の年です。

「そろそろ日本も独立したらどうだ？」とトランプ大統領が安倍元首相に言ったといわれますが、これを機に真の独立国へと大きく舵を切ることができればいいですね。

ブラックスワン食糧保障
草間 弘人

※1 [1945年5月31日暫定委員会の議事録](#)

※2 [全国の被爆者9万9130人に...平均年齢は86歳超、初の10万人割れ（長崎新聞） - Yahoo!ニュース](#)

※3 [原爆傷害調査委員会\(ABCC\) - 公益財団法人 放射線影響研究所 RERF](#)

【参考動画リンク】

・ [世界最大のタブー『原爆投下』の真相に迫る03 \(445\) \[Ch桜大学の講座\] 世界最大のタブー『原爆投下』の真相に迫る03 - YouTube](#)

・ [『原爆』はなぜ、どのように偽装されたのか \[これが本当の近現代史193\]Bing 動画](#)

・ [「原爆」不都合な真実 解明へ\[これが本当の近現代史198\] 「原爆」不都合な真実 解明へ\[これが本当の近現代史198\]](#)

- ・ 世界最大のタブー、日本に落ちた「原爆」の真相【JCUインサイト】 [Bing 動画](#)